

北緯40度

・そぞろある記



オーケストラに感動

子どもたちに素晴らしい音楽を味わってもらおうと村教委主催の東京多摩交響楽団演奏会（新田敏則代表）が5月31日、村社会体育館で開かれました。（写真）

普代児童館園児や小・中学校の児童生徒、村民ら約500人が参加し、オーケストラの生演奏に

感動しながら音楽を全身で感じました。演奏会はマーチ「ウィーンはウィーン」で開幕。「オーケストラと一緒に歌おう・演奏しよう」では、普代中吹奏楽部と一緒に同校校歌を演奏し、みんなで歌うという場面もありました。指揮体験をした内野沢さつきさん（普中2年）は「朝も昼も練習しましたが緊張しました。でも、いい思い出になりました」と微笑んでいました。



鶉鳥さんに願い託す

緑の村に歓声が響く

ゴールデンウィーク恒例の「緑の村こどもまつり」が5月4、5の両日、鳥居地区のうねとり山荘周辺を会場に行われました。

新緑がまぶしい会場では、時折強い風が吹くものの村内外から約3,000人が来場。かき氷や綿アメを食べたり、金魚すくいやエアートランポリンなどを楽しむ子どもたちの歓声が響いていました。5日の午後2時から行われた風船早割大会では、子どもたちが元気にチャレンジ。（写真）高学年の部で優勝した村上駿平君(11)＝青森県八戸市＝は「すごくうれしいです。来年も来たいです」と声を弾ませていました。



村鳥居地区の鶉鳥神社（熊谷一文宮司）の例大祭が5月5日行われ、村内外から訪れた参拝客でにぎわいました。（写真）
神社を訪れた人々は、拝殿をはじめ卯子西山の頂上付近にある本殿を参拝し思い思いの願いを託しました。神楽殿では鶉鳥神楽が奉納され「山の神」「恵比寿舞」などの演目を楽しんでいました。例大祭は旧暦の4月8日に開かれ、大漁や海上安全、家内安全、縁結びなどの祈願に、毎年たくさんの方が訪れます。